



指定希少野生動植物種

生物名	スジヒツツバ <i>Cheiropleuria bicuspis</i> (Bl.) Presl	
分類	シダ植物 スジヒツツバ科	
指定条件	(1),(2),(4),(5)	
特徴	小型～中型の常緑性シダ植物。単葉で二形葉。栄養葉は卵形で先が二分することがあり、葉面の3～4脈が顕著である。胞子葉は細長く、主脈が1本ある。	
生育地	谷間の湿度の高い岩壁に着生し、群落をつくって生育する。	
分布	小笠山が県内唯一の生育地であり、北限自生地である。平成17年度掛川市自然環境調査では、市内2地点で生育を確認した。	
保護	生育地周辺での地形の改変、樹林の伐採等は避けることが必要である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧 I B類(EN) 環境省カテゴリー 指定なし	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	フジタイゲキ <i>Euphorbia watanabei</i> Makino subsp. <i>watanabei</i>	
分類	種子植物 双子葉類 トウダイグサ科	
指定条件	(1),(2),(3),(4)	
特徴	多年草。高さ1mに達する。茎は太く、全株無毛。花期5～7月。花期に苞葉が黄色になる。子房と果実に乳状突起が多い。	
生育地	日当たりのよい山地の草地に生育する。	
分布	静岡県の固有亜種。富士山麓で最初に発見された。県内では北部を除く各地に分布していたが、草地の消滅で減少し、現在は3ヶ所に小規模な産地があるのみである。平成17年度掛川市自然環境調査では、市内1地点で生育を確認した。	
保護	保護には、毎年の草刈りが必要である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧 I B類(EN) 環境省カテゴリー 絶滅危惧 II類(VU)	

※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	オニバス <i>Euryale ferox</i> Salisb.	
分類	種子植物 双子葉類 スイレン科	
指定条件	(1),(2),(3),(4)	
特徴	1年生の浮葉植物。全体にすどい刺がある。葉は直径1m以上に達することもある。花期は8～9月。濃紫色の花をつける。	
生育地	暖帯の池沼、灌漑用ため池など富栄養の水中に生育する。	
分布	灌漑用ため池の整備やつりの邪魔になるとの理由などで除去されるなど、生育地が減少している。平成17年度掛川市自然環境調査では、市内3地点で生育を確認した。	
保護	現存する生育地の適切な管理が重要である。	
備考	市内中新井池のオニバスは県の天然記念物に指定されている。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU)	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	キキョウ <i>Platycodon grandiflorum</i> (Jacq.) A. DC	
分類	種子植物 双子葉類 キキョウ科	
指定条件	(2),(3),(4),(5)	
特徴	多年草。高さ0.5～1m。花期は7～8月。直径4～5cm、広鐘形で青紫色の花が1個～数個つく。	
生育地	山地や丘陵地の日当たりのよい草地に生育する。他の草が繁茂しない岩石地や酸性土壌などにもみられる。	
分布	各地の草地に生育するが、草地の管理放棄や造成工事によって減少している。平成17年度掛川市自然環境調査では、市内3地点で生育を確認した。	
保護	生育地の定期的な草刈が必要である。	
備考	対象は野生種であり、公園などに植栽されているのは対象外である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU)	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	クマガイソウ <i>Cypripedium japonicum</i> Thunb.	
分類	種子植物 単子葉類 ラン科	
指定条件	(2),(3),(4),(5)	
特徴	多年草。高さ20～40cm。上部の葉は茎頂につき径10～20cm、扇円形で対生につく。花期は4～5月。直径約10cmの花を1個つける。	
生育地	低地～山地の自然林や植林地、竹林などに生育している。	
分布	県内では各地に点在するが、生育地での個体数は少ない。山林伐採や園芸採取により減少している。平成17年度掛川市自然環境調査では、市内4地点で生育を確認した。	
保護	生育地の環境に影響を及ぼす山林伐採などを避け、植林地などでは適切な森林管理が重要である。園芸採取を防ぐため、生育地の情報公開には慎重な配慮が必要である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU)	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	ナギラン <i>Cymbidium lancifolium</i> Hook.	
分類	種子植物 単子葉類 ラン科	
指定条件	(1),(2),(3),(5)	
特徴	常緑の多年草。葉は2枚束生し、柄を含めて長さ5～15cm。花期は6～7月。花は白色でわずかに淡紫色を帯びる。	
生育地	常緑樹林の林内に生育する。	
分布	県内各地に点在するが、生育地での個体数は少ない。山林伐採や園芸採取により減少している。平成17年度掛川市自然環境調査では、市内2地点で生育を確認した。	
保護	生育地の森林環境を保護するとともに、園芸採取を防ぐため、生育地の情報公開には慎重な配慮が必要である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU)	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	タカサゴシダ <i>Dryopteris formosana</i> (Christ) C. Chr.	
分類	シダ植物 オシダ科	
指定条件	(1),(2),(3)	
特徴	中型～大型の常緑性シダ植物。葉は3回羽状で五角形、下向きの第1小羽片が長い。	
生育地	暖帯の林内の岩場や崖に生育する。	
分布	県内では西部に分布するが、産地は限定的である。小笠山が東限自生地。平成17年度掛川市自然環境調査では2地点で生育を確認した。	
保護	生育地の谷間環境の保護が必要である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 要注目種(N-II 分布上注目種等) 環境省カテゴリー なし	

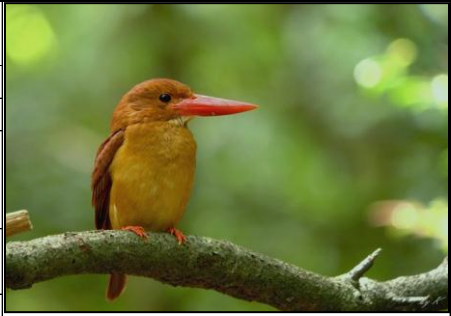
※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	ミソゴイ <i>Gorsachius goesagi</i> (Temminck, 1835)	
分類	コウノトリ目 サギ科	
指定条件	(1),(2),(3)	
特徴	全長約49cm。全体に褐色であるが、上面は首の辺りに赤みがあり、他の部分は暗色がかっている。外敵の接近に対しては首を伸ばし木の枝に擬態する。雌雄同色。夏鳥。	
生息地	丘陵や低山の沢沿いの暗い森林を好む。林内の沢などでサワガニやミズなどを捕らえる。	
分布	市街化の進行、水路の改修、森林伐採、砂防堰堤などで生息地が急速に減少している。平成17年度掛川市自然環境調査では3地点で生息を確認した。	
保護	生息環境の適切な保全が必要である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧 I B類 (EN) 環境省カテゴリー 絶滅危惧 I B類 (EN)	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	アカショウビン <i>Halcyon coromanda</i> (Latham,1790)	
分類	ブッポウソウ目 カワセミ科	
指定条件	(1),(2),(3)	
特徴	全長約27cm。大きな赤いくちばしで、ほぼ全身が赤いが腰の部分に赤い羽毛がある。雌雄同色、メスの方がやや色が薄い。夏鳥。	
生息地	主に河川上流部の溪流沿いの落葉広葉樹林に生息する。	
分布	奥地の広葉樹林が伐採され、生息できる森林と営巣する大径木が減少している。平成17年度掛川市自然環境調査では2地点で生息を確認した。	
保護	生息地の溪流沿いの広葉樹林の保全が必要である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧 I B類(EN) 環境省カテゴリー 指定なし	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	オオタカ <i>Accipiter gentilis</i> (Linnaeus,1758)	
分類	タカ目 タカ科	
指定条件	(1),(2),(3),(4)	
特徴	体長雄50cm、雌56.5cm。成鳥は頭部から背面、尾の上面が黒く、下面は白っぽい。下面は白地に黒くて成鳥は細い横斑が一面にある。くちばしは灰黒色で、脚は黄色。主に林内や林縁部で狩をする。餌は主にハト類などの中型の鳥類。留鳥。	
生息地	山地の林で繁殖し、秋冬には平地から山地の林に住み、農耕地や市街地にも出現する。	
分布	県内では、標高500m以下の丘陵地に多く、西部では生息密度は高い。平成17年度掛川市自然環境調査では10地点で生息を確認した。	
保護	営巣地の保全と採餌環境の維持が大切である。	
備考	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少野生動植物種	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 環境省カテゴリー 準絶滅危惧(NT)	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	サシバ <i>Butastur indicus</i> (Gmelin,1788)	
分類	タカ目 タカ科	
指定条件	(2),(3),(4)	
特徴	全長雄約47cm、雌約51cmのハシボソガラス大のタカ。成鳥は、頭部は灰褐色。のどは白く、腹からの体下面は白く、太い茶褐色の横斑がある。ピクイーと鳴く。夏鳥。	
生息地	4月中旬に日本に渡来し、谷戸や農耕地に接した林の林縁のマツやスギに営巣する。餌は、カエルやヘビ、トカゲなどの両生・爬虫類や、バッタなどの昆虫類である。	
分布	1980年頃までは県内の丘陵から低山に広く分布していた。近年は減少傾向が著しいといわれている。平成17年度掛川市自然環境調査では市内15地点で生息を確認した。	
保護	餌である両生類、爬虫類の生息場所である谷戸、営巣に使う林など里山の保全が必要である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU)	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	クマタカ <i>Spizaetus nipalensis</i> (Hodgson,1836)	
分類	タカ目 タカ科	
指定条件	(1),(2),(3),(4)	
特徴	大型のタカで、雄は全長70～74cm、雌は77～83cmある。成鳥は顔が黒く、後頭に冠状に逆立つ羽毛がある。留鳥。	
生息地	低山から亜高山の林に生息する。ノウサギ、ヘビ類、キジ、ヒヨドリ等を捕食する。	
分布	県内では標高500m以上の山地に分布するが、標高300m程度のところにも生息する。平成17年度掛川市自然環境調査では市内6地点で生息を確認した。	
保護	営巣地の保全と採餌環境の維持が大切である。	
備考	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少野生動植物種	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 環境省カテゴリー 絶滅危惧ⅠB類(EN)	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	ホトケドジョウ <i>Lefua echigonia</i> Jordan & Richardson, 1907	
分類	コイ目 ドジョウ科	
指定条件	(2),(3),(4),(5)	
特徴	全身8cm未満の小型魚類。体は細長い円筒状であるが、ドジョウより太く短い。口ひげは4対ある。	
生育地	湧き水を水源とする小流、山地近くの水田の用水路などの比較的水が清く冷たい小流に主として生息する。	
分布	日本固有種で、県内の中・東部の生息地は減少している。西部には比較的生息地が残る。平成17年度掛川市自然環境調査では市内12地点で生息を確認した。	
保護	生息地である湧水地を保存し、水路のコンクリート化を避ける必要がある。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 環境省カテゴリー 絶滅危惧ⅠB類(EN)	


※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	カケガワフキバッタ <i>Parapodisma awagatakensis</i> Ishikawa, 1998	
分類	バッタ目 バッタ科	
指定条件	(2),(3),(4)	
特徴	体長オス19.9mm～23.3mm、メス22.2～31.5mm。短い翅を持つフキバッタの一種。成虫は7～10月まで見られる。	
生育地	耕作地脇や林縁部等の草地に生息し、特に草刈り等で毎年1度は草刈等がされる環境によく見られる。	
分布	静岡県内の大井川と天竜川にはさまれた限られた地域に生息する固有種である。平成17年度掛川市自然環境調査では市内1地点で生息を確認した。	
保護	草刈り等の継続により草地の環境を残すことが必要である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 準絶滅危惧(NT) 環境省カテゴリー 対象外	

※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。

生物名	アカウミガメ <i>Caretta caretta</i> (Linnaeus, 1758)	
分類	カメ目 ウミガメ科	
指定条件	(2),(3),(4),(5)	
特徴	メス成体の直甲長は76～85cm程度で背面は赤褐色である。下顎鱗板を複数対持つ。4～5月に産卵場の沖合で交尾し、5～8月に数回、主に夜間に砂浜に上陸し、深い穴を掘って一度に80～140卵程度を産む。	
生育地	海岸の砂浜が産卵場である。	
分布	県内では南伊豆町、静岡市、遠州灘海岸等に広く産卵場がある。市南部の砂浜にも産卵する。	
保護備考	産卵場である砂浜の保全が必要である。 ワシントン条約附属書 I に記載されている。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧 I A類(CR) 環境省カテゴリー 絶滅危惧 I B類(EN)	

※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。